

アグアスだより

2013年6月号

修学旅行から戻りました

修学旅行から無事戻りました。三日間の見所をダイジェストでご報告します。

一日目は、オロスコの壁画鑑賞です。州政府舎と、文化センターの巨大な壁画に、初日から圧倒されました。特に文化センターの「スペイン人に征服された先住民の怒りや悲しみを描いたフレスコ画」が圧巻でした。馬や車や機械を知らなかった先住民、彼らの目から見た異文化の恐ろしさや不気味さが、観る者にひしひしと伝わってきました。

二日目はテキーラ村です。「子どもが酒工場で何を学ぶのか」という疑問は、見学を終えて吹き飛びました。竜舌蘭を収穫してそれをテキーラにするまでの工程には、人々の知恵と工夫、汗と涙が凝縮されており、それを体感することで、人間とはなんて素晴らしい存在なのだろうと実感させられた一日でした。

三日目はトナラで、工房に入り陶器を作る工程を見学し、実際に絵づけを体験しました。買い物の時間には、子ども達の目の色が、すっかり変わっていました。

充実した活動が他にもいっぱい詰まった三日間でしたが、それは、各学年からの報告にゆずりたいと思います。友情を育み、心ゆくまでメキシコを体験し、個人においても集団においても、大きく成長し、十分な成果を挙げた修学旅行でした。

母親の励まし

「人が何か新しいことを始めようとする時、神様から努力の壺をもらうの。壺は人によって大きいのが小さいのがあるから、あなたの壺はきっと大きな物なのね。壺が大きいと大変だけど、中身がいっぱい入るからあなたのためになるのよ」

わが子を励ます母親の言葉です。今から20年前、朝日新聞の「天声人語」欄でとりあげられ、話題になりました。

一つひとつ積み重ねる努力に対して、成長は一步一步目に見えるように表れることはありません。努力していて成長が表れない、それはだれにとってもつらいときです。が、そのようなときこそ、こうした母親の励ましが必要なのでしょう。

鉄棒をしている子がいるとします。子どもたちは練習を重ね、手に豆をつくりながら逆上がりの練習をします。でも、どうしてもできなくて、悔し涙を流しながら練習を繰り返します。それがある日、突然できるようになります。子ども達は、一様に「信じられない」という驚きの表情を見せます。その時に、どのようなメカニズムが働くのでしょうか。逆上がりが「できない」と「できる」とでは、ずいぶん差があるように見えます。しかし、この母親は、子どもに両者の間がひと続きだと告げています。その間には、力が蓄積されている状態があって、本人にすら知られることなく、内部に

蓄えられていると教えているのです。

まず、何かに向けて努力する子どもには『努力の壺』が授けられる。そして壺がいっぱいになると「できる」ようになる。このように考えると、『努力の壺』は子どもの学習全般に通じる理解のように思われます。例えば、算数がわからないで考え続ける子どもが、あるときふっと「わかる」ようになる、というようなプロセスも説明できるのです。どうしても解けない問題を考え続けるうち、『努力の壺』がいっぱいになって、解法に至ったと考えればよいのです。

母親の話のように、『努力の壺』にはいくつかの特性があります。第一に、努力は見えないということです。ですから努力を繰り返しても成果が表れないとき、自分の努力が無駄のように思えてしまうのです。しかしそのような時でも、自身の『努力の壺』を信じ、あきらめてはいけません。壺がいっぱいになる直前は、一番つらい時です。ですから、ここでは「苦しいと感じたらゴールは近い」という励ましが必要です。

第二に、『努力の壺』は一人ひとりサイズが違う、ということです。子どもには、すぐに理解して、出来るようになる器用なタイプと、努力を延々積み重ねて目標に到達する努力型のタイプがあります。ここで大切なことは、サイズの小さい方がいいのかというと、必ずしもそうとばかりは言えないということです。努力を積み重ねて成長するタイプの子は、その過程で思考力や判断力が鍛えられ、苦勞した分だけ達成したときの感動や喜びも大きいのです。長い人生の中では、容易にへこたれず、じっくりと思考を練る局面が少なからずあります。そのとき役立つ力が養われるのです。現在、

社会でこのタイプの人が多く活躍しています。

さて、この母親の励ましを、私なりに、全校朝会の講話で話しました。アグアスカリエンテス日本人学校の子どもたちが、みな、自分の『努力の壺』の存在を信じ、あきらめず努力をして、大きく成長していてももらいたいと願ったからです。子ども達はどのように捉えてくれたのでしょうか。そして、講話では、中学生向けにひとつの格言をつけ加えました。それは「努力する人は夢を語り、努力しない人は不満を語る」という言葉です。子ども達に、いつも不満ではなく夢を語る人であってもらいたい、という私なりの願いを込めたつもりです。こうした「努力」の話が、子ども達の心に残るものであってもらえたなら幸せです。

6月行事予定

- 3日(月) 全校朝会(校長講話)、カレーの日、読み聞かせの日
- 4日(火) 水泳教室
- 6日(木) スクールキャンプ
- 7日(金) スクールキャンプ
- 8日(土) 英語検定① 1次試験
- 10日(月) 全校朝会(修学旅行報告会)
- 13日(木) 水泳教室
- 14日(金) 中学部1学期期末テスト
- 17日(月) 中学部1学期期末テスト 豚井の日
- 18日(火) 全校朝会(先輩は語る)
- 20日(木) 水泳教室
- 24日(月) 全校朝会(児童生徒会) 教育相談週間(28日まで)
- 27日(木) 水泳教室(発表会)
- 30日(日) 漢字検定①